

情報連絡員報告総括表(令和3年1月分)

三重県中小企業団体中央会
 連絡員総数 40名
 回答数 40名(100%)

業界の景気動向(前年同月比)

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 (臨時・パートを含む)			業界景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製 造 業	食料品		2	2	2	2		1	3			3	1		1	3		3	1		2	2		4			1	3
	繊維工業		1	2	1	1	1		3			3			1	2		2	1		1	2		2	1			3
	木材・木製品			1			1			1			1			1		1				1		1				1
	紙・紙加工品			2			1	1		1	1		1	1		2	1	1			1	1		2				2
	印刷			1			1			1			1			1			1			1		1				1
	化学・ゴム																											
	窯業・土石製品			3	1	2			3			2	1		2	1		2	1		2	1		3			1	2
	鉄鋼・金属		1			1			1			1			1			1			1		1					1
	一般機器		2	1	1	1	1		3			2	1		3		3			2	1		2	1				3
	電気機器			1			1			1			1			1			1			1		1				1
	輸送機器	1					1		1			1			1			1		1			1			1		
その他																												
小計	1	6	13	5	9	6	1	16	3		15	5		4	16	1	12	7	1	9	10	1	17	2	1	2	17	
非 製 造 業	卸売業		1	1		1	1		2			2			1	1		2					2			1	1	
	小売業	1	2	3		5	1	2	4			5	1		3	3		3	3				5	1		4	2	
	商店街			1			1		1			1			1			1					1			1		
	サービス業		2	3					5			5			2	3		4	1				4	1		3	2	
	建設業		2	2					3	1		3	1		3	1		3	1				4			3	1	
	運輸業		1						1			1			1			1					1			1		
	その他			1						1		1				1		1					1				1	
小計	1	8	11		6	3	2	16	2		17	3		10	10		14	6				18	2		13	7		
合計	2	14	24	5	15	9	3	32	5		32	8		14	26	1	26	13	1	9	10	1	35	4	1	15	24	

最近の主要指標の前年同月比D I の推移

(令和2年1月～令和3年1月)

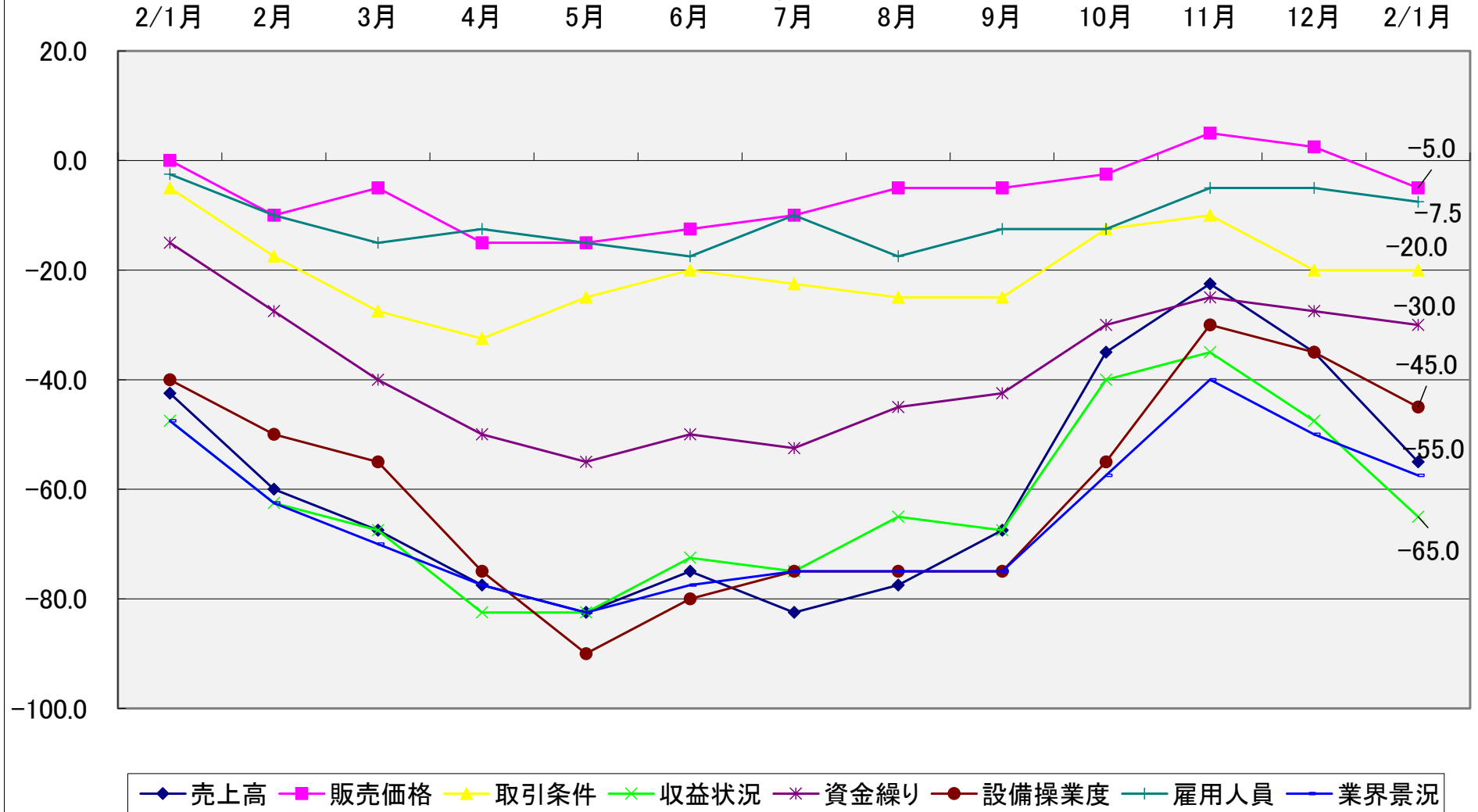
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40 名

	2/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2/1月	増減
売上高	-42.5	-60.0	-67.5	-77.5	-82.5	-75.0	-82.5	-77.5	-67.5	-35.0	-22.5	-35.0	-55.0	-20.0
販売価格	0.0	-10.0	-5.0	-15.0	-15.0	-12.5	-10.0	-5.0	-5.0	-2.5	5.0	2.5	-5.0	-7.5
取引条件	-5.0	-17.5	-27.5	-32.5	-25.0	-20.0	-22.5	-25.0	-25.0	-12.5	-10.0	-20.0	-20.0	0.0
収益状況	-47.5	-62.5	-67.5	-82.5	-82.5	-72.5	-75.0	-65.0	-67.5	-40.0	-35.0	-47.5	-65.0	-17.5
資金繰り	-15.0	-27.5	-40.0	-50.0	-55.0	-50.0	-52.5	-45.0	-42.5	-30.0	-25.0	-27.5	-30.0	-2.5
設備操業度	-40.0	-50.0	-55.0	-75.0	-90.0	-80.0	-75.0	-75.0	-75.0	-55.0	-30.0	-35.0	-45.0	-10.0
雇用人員	-2.5	-10.0	-15.0	-12.5	-15.0	-17.5	-10.0	-17.5	-12.5	-12.5	-5.0	-5.0	-7.5	-2.5
業界景況	-47.5	-62.5	-70.0	-77.5	-82.5	-77.5	-75.0	-75.0	-75.0	-57.5	-40.0	-50.0	-57.5	-7.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする
企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	漬物	野菜全般が豊作のため漬物原料野菜は順調な入荷となっているが、生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では漬物原料野菜の供給不足は続いている。そのため伝統的な漬物においても原料不足のため、代替原料による新たな商品開発の試みが行われている。また販売状況においても、コロナウイルスに関わる外出自粛の影響により、駅、土産物店等でお土産物の漬物の販売及び外食産業での需要が大きく減少している。さらに中部ブロックの漬物製造管理士試験を令和3年3月14日(日)、愛知県名古屋市の「名古屋調理師専門学校」で開催することになった。
	醤油味噌	組合員が1社2月で業務終了、4月で廃業となり35名となる。JAS資格更新審査も例年は夏に行うが、今年度は遅れており1~3月で行う予定である。業況は特に南勢地区が悪い。
	豆腐	コロナによる自粛ムードの中、新年会も自粛で、飲食店への食材としての豆腐油揚げの納品は、昨年比で大幅に減少している。
	製麺	年末よりコロナウイルス感染者が関東で増え出し、緊急警戒宣言が三重県でも発令されて、外食の需要が大きく減ってしまった。この影響から厳しい状況になっている。内食商品は増えているが昨年をどうにかクリアしている状況である。引き続き、インターネット販売等で新しい販売チャネルへ取組んでいく覚悟でやっていく。
繊維工業	衣料縫製	平常の生活が戻らない限り、衣服に関心を持つ事は大変難しいと思われる。受注も少なく売上も極端に減少している。
	テントシート	1月中頃から受注が増えてきているが、まだこれからの先行きが見えない不安が大きい。
木材・木製品	木材	一昨年の消費増税及び昨年からの新型コロナウイルスが依然として先行き不透明で前年比更に減少傾向にある。
紙・紙加工品	紙器段ボール	日本製紙連合が発表した2020年度の紙・板紙の国内出荷量は前年対比で、9.9%減少した。段ボール原紙も3.7%減少した。そのような現状の中、1月も、まだ模様受注で各社の売上は苦しい状況である。加工食品や通販や医薬品向けの段ボールは増加傾向である。
	古紙	1月期の仕入れ量は：段ボール・約93±9%、新聞、チラシ・約82±15%、雑誌・雑がみを合わせて約88±6%と思われる。コロナ大禍と思われる古紙の仕入れ激減となり今までの危機が現実となっている。製紙会社様の製紙原料購入量は平均20%程のマイナスが続いており、日本の主な製紙会社様は国内の古紙余剰と中国の原紙購入予測から製品輸出をしている。中国の廃棄物再生原料の輸入禁止により日本からの中国向け古紙輸出は0トンになった。巣ごもり需要と緊急警戒宣言下で需要と消費の地域差がある様思う。お陰様で資金繰りは一息ではあるが、返済時期の経営が安泰なら良いのであるが、益々ストレスと不安が募っていきそうである。コロナ対策助成金制度等は殆ど使えない。少子高齢化やIT化と紙離れや古紙の持ち去り行為等で古紙の扱いは激減となり、ゴミの不法投棄も減らず、少ない古紙の赤字輸出等の環境下で在庫で困らないこの頃に大きな不安がよぎる。
印刷	印刷	年度末に向けてようやく忙しくなってきた。それでも昨年同時期と比べての減少傾向は続いている。
窯業・土石製品	伊賀焼	三重県の「緊急警戒宣言」による感染防止対策の影響により、イベント、催し等の中止が続き、窯元の売上が減少している。陶芸教室についても団体の予約キャンセルが多く出ている状況である。
鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産高は12月よりは若干増加した。自動車関連は前年下期の前半の落ち込みが激しかった事から徐々に回復してきたが、1月も同様に推移してきた。建築部品、機械関連部品は回復基調がみられない。半導体関連は底を脱し大幅な伸びは無いものの12月よりは増加傾向にあり、春先から本格的に増える見通しである。
一般機器	四日市	コロナに対する緊急事態宣言が1ヶ月延長された。我々の住む三重県は対象外ではあるものの宣言を受けている2つの県と隣接している。危険度は極めて高い。そうした中、四日市の病院でもクラスターが発生した。「経済とウイルス」我々組合員も2つのはざままで手をこまねている。
	津市	1月は年始の休みがあり稼働日数が少ないため、売上は上がらないが、残業は増えた。年末年始の新聞記事で半導体不況による自動車の生産減少が懸念されるが1月はまだ影響はなかった。ただし、昨年のコロナ時でも2~3ヶ月遅れて受注が減少したため、注意していく必要がある。
	伊勢	新型コロナウイルス感染拡大が深刻化し、緊急事態宣言が再発令された事で急速に景気が悪化している。今後の感染状況により下振れリスクもあり、心配している。
電気機器	鳥羽	コロナ禍の影響がここに出てきているのか受発注が50%以下に激減し、対策を打ちかかっている。
輸送機器	鈴鹿	全体的には引き続き繁忙な状況で、残業・休出で対応している。その一方で一部のメーカー、車種では半導体不足による減産、休業が予定されており、今後の影響が懸念される。
	青果	野菜前半：昨年からの冷え込みや大雪の影響で生育が悪く、また輸送が響き北海道産の玉ねぎ、じゃがいも、ネギ、大根、ほうれん草の価格も上昇している。白ネギは順調に入荷し安くなってきた。野菜後半：雨や日照不足で全体的に入荷が少なく新型コロナウイルスによる影響で家庭の消費も鈍り気味で取引は低調である。きゅうり、レタスは値上がりし、トマト、ミニトマトはこの時期にしては安くなっている。果物前半：いちごは低温の影響で例年より高い。りんごは青森産のサンフジが中心でやや安い。みかんは県内産、静岡産、愛知産、和歌山産と順調に入荷している。果物後半：いちごは入荷が増え、甘味も増す時期で価格も今がお買得である。2月に入ると値上がりしそうである。みかん、早生みかんは青島が中心になり味も良い。青森産りんごの出来が良く例年より1割程安い。業務用需要の落ち込みでアールスメロンの価格が下落している。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
小売業	自転車	前年同月比に比べ、自転車の売上はほぼ戻ってきたように思われる。このコロナ禍の下、世界的な自転車に対する需要が高まっており、今年の入学シーズンに対する在庫の確保が急務となっている。しかしながら、コロナ禍による自転車に対する認識は多少なりとも変化してきた。この難局を乗り越えていけば今年の当業界においては少しは明るい見通しが開けるかもしれない。
	電器	1月も前月同様、前年に対してはアップが出来た。また1月は前年2桁のアップと販売は好調に推移している。ただ、販売は前年数字はクリアしても経営的には厳しい状態が続いている。年度前半の販売の落ち込みの影響で経営状況は依然厳しい状況が続いている。長引く新型コロナ禍の影響は大きく、4月からの累計では依然2桁に近い大幅ダウンで経営は厳しい。組合加盟各店では将来に対する不安も多くなっている。商品面では大画面有機ELテレビ及び液晶テレビ・暖房対応エアコン・コロナ関連空気清浄機及び次亜塩素酸を活用した空間除菌脱臭機が好調で販売アップに貢献している。在庫面では季節の変わり目と併せ商品の切り替えがあり品薄・品切れがさらに顕著になって来た。このような状況の中、経営者の高齢化の為に自主廃業の店及び組合脱退店も出てきている。
	石油	コロナ禍で困窮を極めるわが国の中小企業全般を支援するための20年度第3次補正予算が1月28日の参議院本会議で可決された。予算では「中小企業等事業再構築促進事業」として新規事業分野への進出等の新分野展開、業態転換、事業・業種転換等の取り組みや事業再編、またはこれらの取り組みを通じた規模の拡大などを支援するために総額1兆5,000億円を計上した。我々、SS業界もカーボンニュートラルに向け、新分野の展開を含め生き残りを模索して行かなければならないが、SSが災害時の「最後の砦」として活躍するため、全国に15,000カ所の住民拠点SSの整備を進めてきたことも忘れてほしい。
	スポーツ	緊急事態宣言下、あらゆる地域内でのスポーツ事業が取りやめになったり、観客の参加なしになったりして組合活動としては小休止の状態である。ただし、今年は秋に国体があるのでその用意もしている。昨年は全国中学校体育大会(全日中大会)が中止となり組合としては大きな痛手となった。今年の国体はどうしても開催してほしいと思っている。
商店街	熊野市	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、県下でも緊急警戒宣言中ということでもあり、また市内でも初の感染者が確認されたことで、1月に開催を予定していた商店街での朝市イベントは中止となった。2月についても感染状況を見ながら今後決定をする方針である。
サービス業	旅館	12月の「Go Toトラベル」のストップがかかるまではV字回復していたものが今月の緊急事態宣言が発令され、全く予約が残っていない状況となった。今月全体では対前年80~90%減が一般的な営業成績のようである。昨年の3~4月の予約状況よりも更に悪化しているようで、手の打ちようがない。「Go Toトラベル」事業が再開されてもストップがかかるまでのような爆発的な効果が期待できるのか不安である。
	測量	仕事柄、新型コロナウイルス感染の可能性は少なく作業には影響なし。毎年開催されてきた全国測量設計組合情報交換会も令和2年度には新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。また他県で組合の解散も連絡があった。
	警備	業界としては毎年正月休み明けで稼働日も少なく例年通りであるが、イベントがコロナのために全て中止となり、その分減少となった。
建設業	総合工事業	12月から2月は当初予算による公共工事の発注が少ない時期である。台風等の災害発生年は災害復旧工事がこの時期に多く発生されるが、昨年は三重県では自然災害も少なく、工事発注は少ない状況にある。1月に成立した第3次補正予算には国土強靱化のための公共工事予算が含まれており、補正予算による工事発注が期待される。
	内装工事業	1月は前年同月の売上が多く、大幅な減少となってしまった。やはり新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きいと思われる。年度末に向け、このような流れが続くと予測される。
	水道工事業(亀山)	特になし。
運輸業	トラック	先月に引き続き軽油価格は上昇している。世界的な半導体の調達難により自動車の生産調整が影響し、完成車の輸送を中心に減少に転じた。また、住宅関連については住宅着工件数が減少した事から輸送にも大きく影響した。個人消費はコロナ禍による巣ごもり需要から家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンター等の売上が伸びた事から輸送量も拡大した。また宅配関係については引き続き順調に推移している。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	現状は組合活動が開催されていないのでZOOMを使って打合せ等を取組んでいく。2月2日には全国製麺組合連合会のZOOMで理事会を開き、今後の状況を把握していく。
紙・紙加工品	古紙	中小零細企業も大企業も全て新型コロナウイルスの影響を受けており、何らかの直害を受けた国民・県民・市民等(社員・従業員・パート員等)が直接受けられる支援金を考えて欲しいと思う。
一般機器	四日市	リスクを抱えて必死に頑張っている企業に対し、国の補助は足りていない。「緊急事態」とはコロナだけでなく、国民の生活も同様なのだ。
サービス業	旅館	昨年の様な「金融支援策」を早急に決定していただかないと廃業、倒産等が出てきそうである。「政府系」二行と「保証協会」へお願いしてもらいたい。
サービス業	測量	組合員各位の緩やかな成長を望む。